

平成29年度 第5回家庭系ごみ専門部会
議事録（概要）

- 1 開催日時 平成29年8月29日（火） 13：30～

- 2 会 場 第707会議室

- 3 出席者
 - （1）委 員・・・7名
山谷部会長、曾我委員、大矢委員、加藤委員、中谷特別委員、
八木特別委員、柳下特別委員
 - （2）事務局・・・5名
清田経済環境部長、谷澤経済環境部次長、濱田参事、
小川資源対策課長、吉沢管理係長、音道主事、三村非常勤特別職

- 4 傍聴者 なし

- 5 議 事
 - 1 継続審議事項について
 - ・有料化対象品目について
 - ・戸別収集について

 - 2 中間答申（案）について

- 6 議事概要 以下のとおり

発言者	発言要旨
部会長	議題1の「継続審議事項」について、事務局の説明を求める。
事務局	～資料に基づき説明～
部会長	事務局から説明があったが、委員の意見を求める。
委員	<p>まず、有料化対象品目についてだが、海老名市にとってごみの減量化が一番の目的であることから、最大の効果を求めるため、資源物は無料とし、より分別の促進を図った方が良いと考える。</p> <p>また、戸別収集については、資料にあるように、有料化の併用策として有効との方向性のみを専門部会の意見として中間答申したらどうか。</p>
委員	<p>戸別収集は、高齢者の見守りやごみ出し負担軽減のためにも、ぜひやってほしいという住民意見が多い</p> <p>有料化については新たな取り組みでもあり、資源物も有料化対象品目として審議したらどうかとご意見させていただいたが、ごみの減量化を優先させるには、資源物を無料とする方が効果はあることから、その意見に賛成させていただく。</p>
部会長	<p>二人の委員からご意見があった。</p> <p>他に意見あるか</p>
委員	<p>戸別収集の実施については大賛成</p> <p>品目によりごみ袋が変わることで、勘違いしやすい。</p> <p>高齢化が進む中、悩まなくて済むよう全ての品目を同じ指定袋にした方が良いと考える。</p>
委員	<p>同じ袋にしてしまうと混在してしまうのではないかと。</p> <p>分別の徹底が図られれば良いと思うが。</p>
部会長	<p>資源物も指定袋による有料化とすると、市民負担が大きくなる。</p> <p>さらに袋作成経費も増になり、財政負担も大きくなる。</p>

委員	<p>高齢化対策として、ごみ出し負担や見守りといった戸別収集によるメリットが最大限得られるよう、戸別収集の対象品目は検討した方がよいと考える。</p>
部会長	<p>委員皆さんからの意見を要約する。</p> <p>有料化対象品目については、全品目を有料化との意見も一部出たが、意見の多かった可燃ごみと不燃ごみのみとすることが望ましい。</p> <p>戸別収集については、全委員一致の意見で、有料化と並行して実施することが望ましい。</p> <p>専門部会の意見として集約したいがいかがか。</p>
委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>議題2「中間答申（案）について」</p> <p>事務局の説明を求める</p>
事務局	<p>～資料に基づき説明～</p> <p>（資料P7の「(1) 有料化の対象」について、意見集約できたことから、「資源ごみについては、今後の検討課題とします。」とあるところ、「資源ごみを無料品目とすることが望ましいと考えます。」に修正させていただく旨も含め説明)</p>
部会長	<p>ごみの減量化策に対する専門部会としての意見を集約した中間答申（案）となっている。</p> <p>特に、併用策として「高齢者や障がい者の雇用場として活用できないか」を検討するということは素晴らしい意見と考える。</p> <p>他の自治体では見かけない策で、新たな発想である。</p> <p>福祉向上、雇用機会の創出に役立てていこうという高い志の表れと思う。</p> <p>この内容で環境審議会へ報告としていいか。</p>
委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは、そのように進めさせていただき、本日の審議を終わる。</p>